

や・ま・ぐ・に



今回は、当施設の縁の下の力持ちである営繕スタッフを紹介致します!!
普段は施設内の保全や修繕を主たる業務として従事されています。その仕事の合間を縫って、様々なオブジェを作成されては施設の各所に設置され、利用者さんとの移動中の話題となったり、目を楽しませて下さっています。
施設内の至るところにあるので、京北やまぐにの郷にお越しいただき、探してもらえると嬉しいです。ワクワクしながら楽しく探してくださいね!!

オブジェ大集合!!



扉の修繕もお手のもの!!



雪の間からモグラ



新作 octopus



ヒコーキ型の風見鶏!!



修繕作業の下準備



『自閉スペクトラム症』って???? (第8回)

こんな質問をいただきました・・・
「自閉症」と「自閉スペクトラム症 (ASD)」はどう違うの??? と・・・
そこで今回は、少し踏み込んで説明しますね (^_^)-☆

- 自閉症 ⇒ 従来の診断名・・・1943年、レオ・カナーによって報告された発達障害。
重度のコミュニケーション障害や強いこだわりが特徴で言語発達の遅れや知的障害を伴うことが比較的多い。
※[過去の部分的な診断]
- 自閉スペクトラム症 ⇒ 2013年に診断概念が大きく変わり、従来別々に診断されていた症状 (特性) を一つの連続した状態として捉え「スペクトラム症」としてその概念を広げた現代的な用語。
※[現在の総合的な診断]

従来= 広汎性発達障害 (~2013年) ...境界線が重なり交わりあった



現在= 複数の診断名を統合 (2013年~)



自閉症と自閉スペクトラム症 (ASD) は、発達特性の一部であり、診断名の変遷によって異なる意味を持つようになりました。重要なのは、診断名にこだわるのではなく、個々の特性を理解し、その人に合った支援を提供することです。これにより、より生きやすい社会の実現につながることが期待されています。

『つぶやき』 2026年度からネーミングを「つぶやき」にリニューアルしました! スタッフからの「つぶやき」をお楽しみに...

「えっ、もう4月?」
カレンダーをめくるたび、その月日の早さに驚かされます。厳しい冬を耐え抜いた京北の自然が、一気に春を謳歌し始めました。その鮮やかな景色を前に、私の心もいつの間にか弾んでいます。
日々を過ごしていると、「よく食べて、よく眠る」という当たり前のようなことが、時に難しく感じることもあります。つい無理をしてしまったり、上手くいかないことに心を奪われたり……。けれどそんな時こそ、目の前にある「小さな幸せ」を大切にしたいと思うのです。ふと香る春の匂い、利用者の皆さまと交わす笑顔、あたたかくて美味しいごはん。そして、施設の中にこっそり隠れた「木製ペンギン」や「木彫りのカエル」を見つけた瞬間。京北やまぐにの郷は、そんな小さな幸せを皆さまと見つけながら、今日も一歩ずつ歩んでいます。
「皆さまにとっての『小さな幸せ』は何ですか?」施設にお越しの際は、ぜひ皆さまの春の発見も聞かせてくださいね。 (・ω・)ノ masada



発行 社会福祉法人 京都杉の木会 京北やまぐにの郷
〒601-0314
京都市右京区京北大野町菅蒲ヶ回互10-2
TEL : 075-853-0571 FAX : 075-853-0372
URL : <https://yamaguni.jp>
: keihoku802310@yacht.ocn.ne.jp

2026(R8) 年度 法人展望

新規事業への思いを胸に、新たなステージを歩み出して1年。

新たな中期経営計画の下、重点課題と実施計画に沿って具体的な行動計画を策定し遂行していく一年としたいと思っています。

事業計画の推進では、グループホームや生活介護事業所の開設に向けて京都市へ認可申請を行うべく設計と進めているところです。

併せて、地域の様々な動きに目を向け、人と人とのつながりや参加の機会を生み育む多様な活動を通して、より豊かな関係性を構築し、共生社会の充実を目指します。そのためにも法人として、働き甲斐があり、魅力ある職場環境づくりに励み、人財の確保と育成により一層の力を注いでまいります。

〈 基本方針 〉

地域共生社会の実現に向け、包括的な支援の下、一人ひとりの安心と安全が確保され、幸せに暮らすことが叶うよう諸課題への取組みを実施します。

- (1) 利用者の自己決定を支え、臨む暮らしの実現に向けて取り組めます
- (2) 地域のニーズを解決するための事業を模索し、遂行します
- (3) 災害対策の強化を図るため、地域との連携協働を進めます
- (4) 福祉人材の確保・育成に注力します
- (5) 利用者・職員ともに安全で安心感がある法人運営に取り組めます



2026(R8) 年度 事業展望

利用者一人ひとりが希望する暮らしを実現できるよう、意思決定支援を一層強化します。個別支援計画に基づき、日常生活や余暇活動において主体性を尊重した支援を行い、生活の質の向上を図ります。

京北地域の各種イベントへの参加や交流活動を通じて、地位住民とのつながりを深め、地域に開かれた施設運営を推進します。

これらの取組みを通じて、利用者・地域・職員が相互に支え合う、持続可能で信頼される施設運営の実現を目指していきます。

救急救命法講習の風景

新型コロナウイルス感染症の流行により、受講が遠ざかっていた救急救命法講習を2班に分かれて受講しました。基礎の講義とCPR（心肺蘇生法）の実技講習を3時間しっかりと取り組みました。受講が初めての職員もいましたが、チームプレイで救急車到着までの時間をいかに途切れることなく蘇生するまで継続していくかを学びました。

AEDの種類によっては、成人と子どもの使用でスイッチの切替が必要であることを知り、施設設置しているAEDを確認することも忘れずに行いました。



期日前投票（選挙）の引率報告記

第51回衆議院議員総選挙及び第27回最高裁判所国民審査の投票へ行ってきました。今回は選挙が急に告示され、利用者への説明期間は短くなりましたが、施設内に選挙立候補者のポスターを貼りだして皆さんへ情報提供をしました。投票は小グループに分かれて京北出張所での投票に臨みました。緊張の面持ちでしたが、入口まで支援員と共に向かい、選挙管理委員の方にどうすれば投票ができるかをお伝えして投票を無事に終えることができました。これからも利用者さんの意思決定支援、意思形成支援を大切にしていきたいと思っております。

みんな投票を行いどんな気持ちだったでしょうか。晴れやかで貴重な時間ではなかったでしょうか。京北やまぐにの郷は一人ひとりの権利をこれからも大切にしていきたいです。投票にご協力いただいた地域の皆様ありがとうございました。

(kohei)

ご利用者満足度調査を開催しました

去る1月9日（金）の午後、サービスの質の向上を目的として「ご利用者満足度調査」を実施しました。今回は、ご利用者の皆さんご自身に回答していただき、それぞれの思いや考えをお聞きすることができました。一生懸命に取り組まれる姿が印象的でした。ご意見を大切に受け止めながら、ご利用者お一人おひとりが安心して、その方らしく生活できるよう、今後も意思決定支援を大切に施設運営に努めてまいります。

